

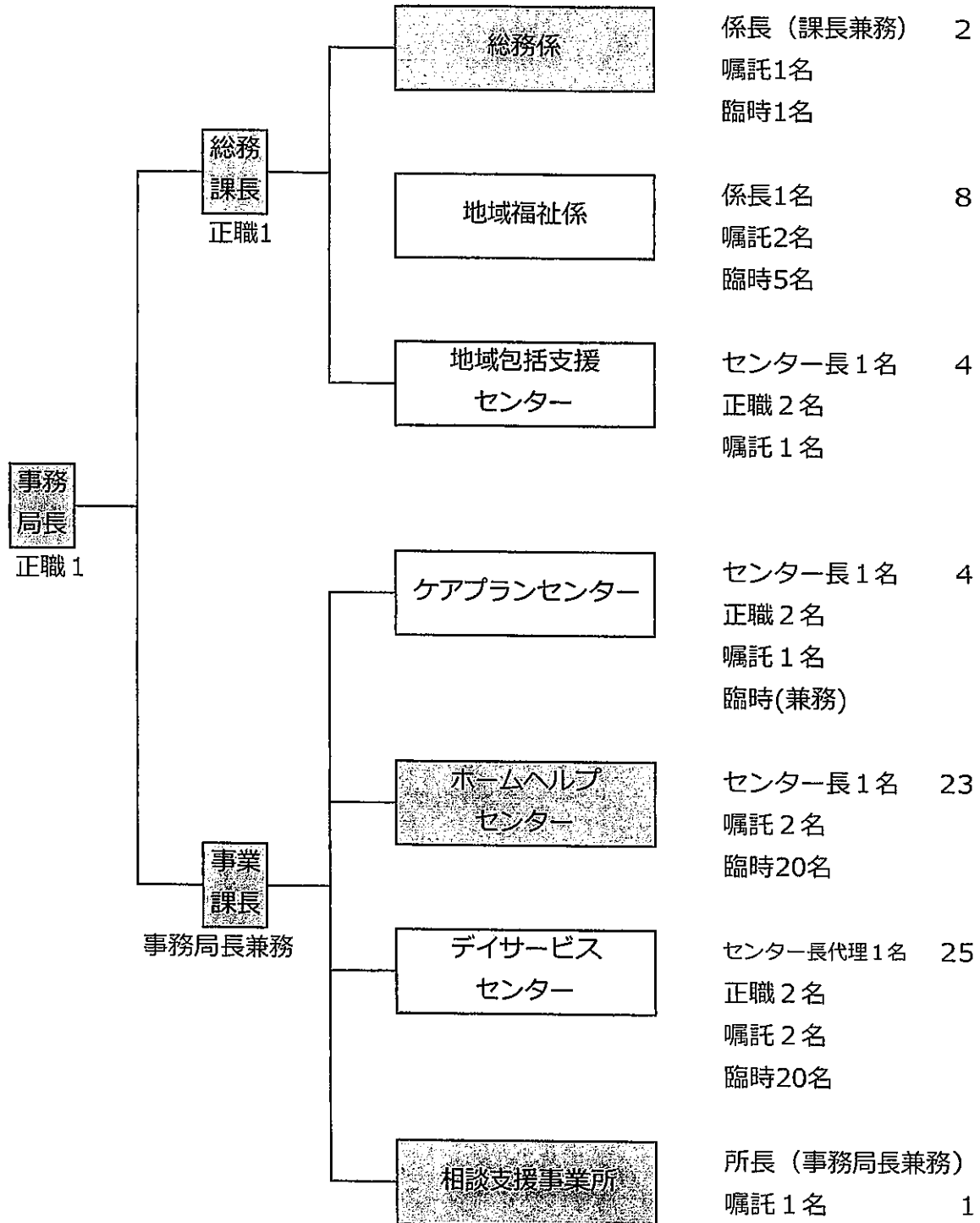
令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 大山崎町社会福祉協議会

職員体制

(令和5年3月31日現在)



職員数

正職員	14
嘱託職員	10
臨時職員	46
合計	70

70

中期計画評価シート

計画理念	中期計画目標	評価指標	進捗状況	旗振り役			
一人ひとりが尊厳と幸せを感じるおおよまざきをつくる	利用者	①利用者を支える法人内ネットワーク化の促進	法人内事例検討会 デイ利用者との共同事業	3回実施 未着手	ケアプランセンター デイサービスセンター 地域福祉係		
		②利用者のニーズに応じたサービス提供	満足度調査	デイサービスで実施	対象各部署		
			第3者評価の受検	5年度受検予定	対象各部署		
		地域	①社協サテライトをつくる	モデル事業の可否	未着手	サテライトプロジェクト チーム(4~5名・課長会議 選出)	
	②大山崎町社協の認知度向上		認知度調査	地域福祉計画での認知度調査	総務係		
			会員数調査	未着手			
	③働く世代にも対応した福祉サービスの提供		多様な時間帯イベント開催数	Zoomでお話会 フードパントリー なごみきゅん	地域福祉係		
	人材	①法人のキャリアパスを意図した研修受講の促進	研修受講数	正職員 中級受講	総務係		
		②資格取得助成の促進	報告完了数	主任介護支援専門員2名取得 相談支援初任者1名取得	総務係		
		③職員面談の継続実施	面談及びフィードバック状況	管理職面談の実施	総務係		
		④自己実現が共有できるような面談への発展	新たな面談システムの実施状況	事業課 定期面談と満足度 労調査の試験実施	総務係		
		⑤働き方改革による多様な雇用形態の実現	独自雇用形態実施の評価	未着手	総務係		
	①純利益を意識した安定した財政基盤	②中期計画の評価	各部署の実績額及び運転資金3か月分の確保を評価・580万円/年)	減員による収支改善	事業課		
				6か月に1度の評達成度(目標達成度評価)	専門員会による達成度公開	中期計画策定チーム	
				③各センター長による財務管理の促進	予算及び実績管理状況を評価	事業課会議/月	課長以上
				④社労士・会計士・介護保険行政等との定例的な連携維持	現状の維持体制を評価(社会保険労務士)	第1・3木曜日定期開催	総務係
					現状の維持体制を評価(社会士等)	1回/3か月定期開催	総務係
					現状の維持体制を評価(介護保険行政)	地域包括・行政連絡会議/月	各部署
				⑤BCP計画・虐待委員会、苦情対応・事故対応・ヒヤリハットの法人共有システム化	BCP計画 虐待委員会 苦情・事故対応 ヒヤリハット共有	未着手	各部署リスクマネジメント担当者を選出
						未着手	
未着手							
未着手							
⑥理事会・評議員会・三役会・定例監査の継続	理事会 評議員会 三役会 定例監査	5.9・3月開催	総務係				
		6・3月開催					
		毎月開催					
		4.8・2月開催					

1.総務課-総務係

総務係 単年度目標

- 実現性のある経営計画や運営の軌道修正を速やかに判断するため、収支分析のスピードアップを図る。
- 自治会町内会、企業、関係機関等と良好な関係を保ち、社協会員、サポート店参加店、募金百貨店プロジェクト参加店の更なる強化に取り組む。
- 法人内の部署間相互協力体制「お互いさま」精神の強化に取り組む。

総務係・単年度目標総括

中期計画初年度として単年度計画運営及び収支分析を行った結果、法人全体として積立を挽回し、300万円の黒字を達成した。また募金百貨店の1店舗増、サポート店のPRを強化し、人事においては年度当初・途中と2回の異動を実施し、「お互いさま=共助」の風土づくりに取り組んだ。職員不足に対応するため、職員個人に焦点を当てた働く環境づくりが目標となる。

事業内容

指定管理、労務管理、人事管理、経営管理及び法人の意思決定にかかる部分を担う。

職員体制

係長（総務課長兼務）、臨時1名

- **三役会**（正副会長及び課長以上の定例会議・毎月実施）
4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/22、10/20、11/17、12/16、1/19、2/16、3/8
- **定例監査**（監査役員による事業及び経理に関する監査を3か月に一度実施）
5/25、9/16、2/24

■理事会

5月31日	【第5号議案】 令和3年度事業報告及び決算に関する件
	【第6号議案】 事務局長の交代選任に関する件
	【第7号議案】 評議員選任・解任委員の交代選任に関する件
	【第8号議案】 定時評議委員会の招集に関する件
	【第9号議案】 事務局規程の一部改正に関する件
9月22日	【第10号議案】 育児・介護休業等に関する規則一部改正に関する件
3月8日	【第1号議案】 令和5年度事業計画（案）に関する件
	【第2号議案】 令和5年度予算（案）に関する件
	【第3号議案】 評議委員会の招集に関する件

■評議員会

6月23日	【第4号議案】 令和3年度 事業報告及び決算に関する件
	【第5号議案】 事務局規程の一部改正に関する件
3月23日	【第1号議案】 令和5年度事業計画（案）に関する件
	【第2号議案】 令和5年度予算（案）に関する件

■専門委員会（新型コロナウイルスにより前期7月開催分中止）

■社協会費 2,007,000円（令和5年3月末現在）・（昨年度2,089,000円）

区分	内容	令和4年度実績	令和3年度実績
一般	1,000円以上/一口	1,194,000	1,127,000
賛助	3,000円以上/一口	273,000	422,000
特別	10,000円以上/一口	540,000	540,000
合計		2,007,000	2,089,000

主な使途

福祉団体への活動助成（8団体 240,000円）

双葉会、円明寺が丘長寿会、遺族会、知的障害者育成会、乙訓点訳サークル、三つ和母子会、少年補導委員会、円団中央長寿会

子ども会活動への援助（21子ども会 71,850円）

その他（地域福祉活動広報費、貸出機材購入費等）

■寄付活動

寄付金

令和4年度実績	464,964円
令和3年度実績	372,229円

寄付物品

月日	寄付申出人（敬称略）	用途	金額
4月4日	匿名	町民様のために	電子ミシン
4月21日	匿名	福祉のために	電子ミシン
7月14日	ダイハツ工業（株） 京都工場	デイサービス	物干し台
9月14日	七姫 株式会社	福祉のために	米100kg
9月20日	坂之上 淳	福祉のために	邦画DVD全巻
10月26日	匿名	住民のために	炊飯器
11月5日	匿名	地域福祉のために	光沢紙
10月27日	山田 克正	地域福祉のために	米150kg
11月1日	匿名	福祉のために	米90kg
11月18日	匿名	福祉のために	日用品・文具

■社協だより（4月115号 7月116号 10月117号 3号×7,500部 全戸配付）

■ホームページ・LINE（240名登録）

■職員研修

研修名	日程	参加者
生福祉資金貸付事業担当職員研修	4月15日・4月19日	1
キャラバンメイト養成講座	5月24日	3
ひきこもりに関する学習会	6月7日	3
認知症との人とその家族を支えるためのケアマネジャー育成事業	6月8日～(全4回)	1
ルンパド・つなげ隊・認知症地域支援推進員 合同研修	6月10日	1
認知症介護実践者等養成講座	6月14日～(全5回)	1
令和4年度 市町村ブロック別研修会	6月15日	1
令和4年度ハラスメント防止研修	6月28日	1
認知症地域支援推進員研修	7月12日・13日	1
令和4年度災害ボランティアセンターマネジメント研修	6月30日 7月4日 7月5日	1
じぶんの町を良くする会議 第11回赤い羽根全国ミーティング	7月5日・6日	1
京都府地域包括在宅介護支援センター協議会	7月6日	3
防火管理に関する講習会	7月14日・15日	1
若年性認知症研修会	7月25日	1
令和4年度第1回在宅療養手帳研修会	7月27日	1
福祉職場におけるケース記録の書き方	8月8日	1
企業内人権啓発推進員研修会	8月29日	1
いきがい・助け合いサミット	9月1日・2日	2
福祉職の為のマナー研修	9月5日	1
令和4年度京都府障がい者虐待防止・権利擁護研修	9月8日～(全3日)	1
京都府家族支援実践研修会	9月14日・15日	1
地域連携強化推進研修	9月28日・10月10日・11月26日	1
地域包括ケア推進人材育成研修	9月30日～(全6回)	1
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会研究大会	10月3日・4日	2
京都府視覚障がい者社会教育指導研修会	10月18日	1
京都府災害ボランティアセンター全体研修会	10月15日	1
令和4年度企業対象人権研修会	10月19日	1
看取りサポートの人材養成研修	10月20日～(全4回)	1
京都府地域包括在宅介護支援センター協議会 山城北・山城南グループ合同研修	10月28日	3
ひきこもりに関する学習会	11月1日	1
地域の協働から生まれた移動サービス事例勉強会	11月11日	2
医療介護連携推進の為のオンライン研修会	11月17日	5
引きこもり支援対応力強化研修	12月5日	1
地区別看取りサポート研修	12月10日	1
対人援助の基本姿勢・相談面接技術セミナー	12月15日	2
介護支援専門員実習受け入れ研修	12月22日	1
社会福祉法人施設「会計の実務決算」研修	12月19日	1
令和4年度生活支援体制整備推進の為の交換会	1月9日	2
第10回きょうと地域福祉活動実践交流会報告	1月21日	3
令和4年度リハビリテーション従事者研修(看取りについて)	1月25日	1
高齢期を迎えた障害のある人と家族への支援	2月2日	1
第4回引きこもりに関する学習会(アウトリーチ)	2月21日	1
令和4年度第二回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会	3月8日	1
令和4年度ボランティア担当会議	3月14日	1
令和4年度認知症推進啓発事業 「きらめき認知症シスター養成講座」	3月30日	1

階層別 キャリアアップ研修
 市町村社協職員新任職員研修
 福祉職員キャリアパスチームリーダー研修
 福祉職員キャリアパス初任者研修

赤い羽根共同募金

期間	10月～3月
方法	主に自治会の協力を得て展開

	令和4年度実績	令和3年度実績
募金額	¥1,043,920	¥1,021,964

■赤い羽根共同募金配分事業（大山崎町共同募金委員会 運営委員会9月20日）

	対象者別	団体名	事業内容	助成決定額
1	障がいのある方の福祉活動のために	大山崎町知的障害者育成会	障がい児者レクリエーション	150,000
2	高齢者福祉活動のために	町社協	一人暮らし高齢者交流事業	50,000
3	児童・青少年福祉活動のために	大山崎町三ツ和母子会	母子父子家庭レクリエーション	150,000
4	児童・青少年福祉活動のために	町社協	福祉体験学習	25,000
5	課題を抱える人々を支える活動のために	町社協	ひきこもり支援事業	87,707
6	住民全般の福祉活動のために	お箏伝承の会	お箏伝承	29,918
7	住民全般の福祉活動のために	天王山シニア倶楽部	ベンチづくり・防災倒木撤去	80,000
8	その他	町社協	あかりちゃん祭	251,650
9	その他	町社協	福祉センター感染予防対策	29,400
合計額				853,675

■募金百貨店プロジェクト（店舗「企業」と協力し寄附付き商品の企画・運営）

月日	企業名	内容	募金額
4月30日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	5,620
5月10日	大山崎リトルプレイス	社協だより制作費の一部	4,000
5月28日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	3,910
6月25日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	4,115
7月30日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	4,272
8月17日	大山崎リトルプレイス	社協だより制作費の一部	4,000
9月24日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	2,235
10月26日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	4,679
11月17日	大山崎リトルプレイス	社協だより制作費の一部	4,000
12月23日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	1,931
2月14日	アデリーカフェ	マスクカバー等売上の一部	5,920
2月14日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	5,634
2月16日	大山崎リトルプレイス	社協だより制作費の一部	4,000
3月9日	バロンバロン	ケーキDAY売上の一部	2,630
3月10日	OKK・MUSIC	キーホルダー売上の一部	7,100
合計額			64,046

7月 募金百貨店プロジェクト登録

ボランティア音楽企画 OKK・MUSIC

歳末たすけあい募金活動 募金額 761,700円

期間	10月～12月
方法	主に自治会の協力を得て展開

	令和4年度実績	令和3年度実績
募金額	¥761,700	¥773,865

■歳末たすけあい募金配分事業

	団体名	事業内容	助成決定額
1	乙訓福祉会	障がい者支援事業	47,458
2	NPO法人 てくてく	障がい者支援事業	50,000
3	手作りの成人を祝う会実行委員会	手作りの成人を祝う会	15,000
4	大山崎町三ツ和母子会	母子会助成	50,000
5	竹の子文庫	児童文庫	50,000
6	おぐら文庫	児童文庫	49,907
7	第二大山崎小学校図書ボランティア	福祉・人権図書	49,610
8	大山崎小学校図書ボランティア	福祉・人権図書	49,500
9	大山崎町民生児童委員協議会	ことぶき会会員への友愛訪問	122,885
10	大山崎町社会福祉協議会	一人暮らし高齢者友愛訪問	100,000
11	大山崎町社会福祉協議会	福祉活動啓発	80,000
公-1	音楽ボランティア ポコの会	福祉活動助成	46,900
公-2	谷田町内会	介護予防体操	50,000
公-3	にやまっ子見守り隊	二山小登下校見守り活動	29,150
合計額			790,410

■衛生委員会（毎月実施）

- ・職員の健康障害防止について対策を協議し安全衛生管理を行う。

2.総務課-地域福祉係

地域福祉係 単年度目標

- 誰もがその人らしい生活を送れるように、新しいつながりづくりや困りごとを取りこぼさない支援の仕組みづくりを進める。
- 認知症への偏見がない地域を目指して、認知症への理解を深める取り組みや認知症本人・家族への支援、地域の活動者へのサポートを進める。
- 子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、支え合いの地域づくりに参加活動できる為の仕組みづくりと担い手の育成・支援をする。

地域福祉係・単年度目標総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防に努めながら、できる限り対面での事業を行ったが、一部事業中止となった。令和5年度は再度、同じ目標を掲げコロナ禍前の事業展開を目指す。

事業内容

世代を超えた町の地域福祉向上を担う。

職員体制

係長1名 嘱託1名 臨時5名

地域福祉事業（属性を問わず多世代が交流できる福祉活動を地域で展開する）

■なごみきっちゃん（子どもを真ん中に多世代交流できる居場所づくり）

日程	活動内容	参加人数	支援者数
4月17日	トマト、きゅうりの苗植え・大山崎町クイズ	2	6
5月15日	芋の苗植え・竹の子料理	8	8
6月19日	じゃがいも収穫・じゃがいも料理	15	6
7月17日	コロナウイルス感染拡大につき中止	-	-
8・9月	実施せず	-	-
10月16日	芋ほり・ポッチャ、ウェルネスダーツ体験	24	2
11月	あかりちゃん祭開催のため中止	-	-
12月18日	クリスマスレク・大根料理（大根餅・ポトフ）	24	7
1月29日	切り絵・正月料理（京風雑煮・なます）	20	9
2月19日	冬野菜収穫・巻き寿司・水菜のサラダ	22	13
3月19日	防災イベント	13	4

■なごみファーム（農業を通じた多世代交流できる居場所づくり）

週1回農業活動、メンバーによる月1回の定例会で運営
社協事業（なごみきっちゃん・フードパントリー等）への食材提供

■くらし助け愛サポーター事業（共助を目的としたくらし助け愛サポーターによる生活支援）

サポーター25名登録、利用者3名

■ひとり暮らし高齢者の会（ことぶき会）への支援

地域での高齢者の孤立化を防ぎ、交流の機会をもつ

日程	事業内容	参加者数
4月17日	第1回サポーター連絡会	8
9月	民生委員による友愛訪問	166
8月29日	第2回サポーター連絡会	6
10月4日	円明寺地区お散歩コース下見会	6
11月28日	円明寺地区お散歩会・食事会	10
12月	民生委員による友愛訪問	165
3月	民生委員による友愛訪問	155

■社会福祉援助技術現場実習受け入れ

期間：9月1日～10月13日

佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科4年生 1名

■広報啓発活動等

月日	名称	出店内容
7月10日	社協ミニフェスタin鏡田	フードドライブ、わたがし販売・ポッチャ、共同募金
8月27日	円明寺ヶ丘夏祭り	ポップコーン販売、共同募金
10月2日	名月のつどい	OH!やまざき体操、わたがし販売、共同募金
11月6日	あかりちゃん祭	寄付つき商品販売、ボランティア紹介、野菜販売等
11月27日	おもてなしウィーク	野菜販売、デイ見学、共同募金

■あかりちゃん祭

町内のボランティア、福祉関係者が集い 福祉の風土を醸成する

令和4年度テーマ「脱コロナ～心を一つに～」

参加者 約700名・寄付つき商品参加店 12団体、ステージ参加 7団体

募金額 62,773円

生活福祉資金(高齢・障がい・低所得者を対象に相談支援と資金貸付を行い、生活者の権利を保護する)

■特例貸付 (コロナ禍の影響で収入減少及び離職者を対象とした資金貸付)

月	緊急小口資金	総合支援資金
4月	1	2
5月	2	0
6月	2	4
7月	1	1
8月	0	3
9月	2	1
合計	8	11

■生活福祉資金

(高齢・障がい・低所得者を対象に相談支援と資金貸付、緊急小口・福祉資金・教育支援資金がある)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口	1									1
福祉資金		1			1					2
教育支援資金				1		1			1	3
										6

生活支援体制整備事業 (高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進)

日程	場所	内容	参加人数
4月22日	中央公民館	プロジェクトO (協議体)	10
5月27日	中央公民館	プロジェクトO (協議体)	9
6月23日	南円明寺会館	プロジェクトO (協議体)	17
7月21日	南円明寺会館	プロジェクトO (協議体)	14
8月26日	谷田会館	プロジェクトO (協議体)	19
9月21日	谷田会館	プロジェクトO (協議体)	18
10月28日	中央公民館	プロジェクトO (協議体)	5
11月30日	下団集会所	プロジェクトO (協議体)	11
12月	下団集会所	中止	-
2月8日	下団集会所	プロジェクトO (協議体)	13
2月28日	なごみの郷	プロジェクトO (協議体)	26
3月27日	なごみの郷	プロジェクトO (協議体)	11

■天王山シニアクラブ (シニア世代の男性を対象とした地域福祉活動)

日程	場所	活動内容	参加人数
4月27日	なごみの郷	定例会	6
5月25日	公民館	大山崎町の歴史を知る講座	20
6月22日	なごみの郷	定例会	7
7月27日	なごみの郷	コロナウイルス感染拡大につき中止	-
8月24日	なごみの郷	定例会	8
9月28日	なごみの郷	ウェルネスグッズ体験	8
10月26日	なごみの郷	フレイル予防講座・なごみファーム視察	7
11月24日	なごみの郷	定例会	8
12月22日	鏡田	定例会	7
1月19日	なごみの郷	定例会	8
2月23日	公民館	大山崎町の歴史を知る講座	22
3月23日	公民館	ヨガ体操	10

■助け愛隊サポーター事業 (地域介護予防活動支援事業)

自ら介護予防の知識を深め、地域で介護予防活動を推進するサポーターを養成する

【新規修了者数】 10名

【助け愛隊サポーター数】 180名

日程	場所	内容	講師	参加人数
10月5日	なごみの郷	大山崎町の高齢者福祉について学ぶ	役場・社協	13
10月31日	なごみの郷	ハッピーコミュニケーション講座	大阪人間科学大学	17
11月12日	ふるさとセンター	居場所のススメ	大阪人間科学大学 さわやか福祉財団	11
12月3日	ふるさとセンター	今から始める居場所づくり	大阪人間科学大学	13

■助け愛隊サークル活動代表者 連絡会 (サークル活動者同士の情報交換の場)

日程	場所	内容	参加人数
7月28日	なごみの郷	各サークルの活動状況報告	13

認知症等事業（認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり）

■認知症サポーター養成講座（地域包括と共催）

日程	対象者	参加者数
6月24日	ダイハツ社員	19

■わが家（初期認知症の方の居場所づくり 毎月第4月曜日開催）

月日	地域	内容	参加者
4月25日	円明寺	折り紙でお花作り お箏とピアノ、オカリナの演奏会	9
5月23日	円明寺	折り紙でお花作り 介護保険 ケアマネによる寸劇	8
6月27日	円明寺	折り紙でお花作り クラシックピアノ演奏	7
7月25日	円明寺	コロナウイルス感染拡大につき中止	-
8月	円明寺	実施せず	-
9月26日	円明寺	折り紙でお花作り クラシックピアノ演奏	7
10月24日	円明寺	和来隊「脳活性化ゲーム」	5
11月28日	円明寺	折り紙でお花作り クラシックピアノ演奏	5
12月	円明寺	実施せず	-
1月23日	円明寺	折り紙でお花作り お箏・オカリナの演奏会	3
2月27日	円明寺	認知症による紙芝居	5
3月27日	円明寺	折り紙でお花作り クラシックピアノ演奏	7

■ふらっと遊カフェ（初期認知症の方の居場所づくり 毎月第2火曜日開催）

月日	場所	内容	参加者
4月19日	ふらっと遊	保健師による「えごま油」の話、体操、アコーディオン演奏	4
5月17日	ふらっと遊	保健師による「がん予防の暮らし」の話、体操、アコーディオン演奏	4
6月21日	ふらっと遊	保健師による「腰痛予防」の話、体操、アコーディオン演奏	3
7月19日	ふらっと遊	保健師による「肩こりの原因と予防」の話、体操、アコーディオン演奏	4
8月9日	ふらっと遊	保健師による「栄養バランス」の話、体操、アコーディオン演奏	4
9月13日	ふらっと遊	保健師による「貯筋」の話、体操、アコーディオン演奏	4
10月11日	ふらっと遊	保健師による「チョコギの効能」の話、体操、アコーディオン演奏	4
11月8日	ふらっと遊	保健師による話、体操、アコーディオン演奏	4
12月13日	ふらっと遊	保健師による「温活」の話、体操、アコーディオン演奏	3
1月10日	ふらっと遊	保健師による話、体操、アコーディオン演奏	3
2月14日	ふらっと遊	保健師による「介護保険」の話、体操、アコーディオン演奏	3
3月14日	ふらっと遊	保健師による話、体操、アコーディオン演奏	4

■ **介護者の会** (介護の悩み、不安を持っている方のエンパワメントグループ 毎月第2金曜日開催)

月日	場所	内容	参加者
4月8日	なごみの郷2階	お話し会	3
5月13日	なごみの郷2階	お話し会	3
6月10日	なごみの郷2階	お話し会	2
7月8日	なごみの郷2階	お話し会	1
8月12日	なごみの郷2階	お話し会	-
9月20日	なごみの郷2階	お話し会	3
10月18日	なごみの郷2階	お話し会	4
11月15日	なごみの郷2階	実施せず	-
12月9日	なごみの郷2階	お話し会	3
1月13日	なごみの郷2階	お話し会	1
2月10日	なごみの郷2階	実施せず	3
3月10日	なごみの郷2階	お話し会	5

■ **介護について語り合しましょう** (病气や介護について抱え込まずいつもと違った雰囲気ですり合える場づくり)

新型コロナウイルス感染症の拡大により今年度未実施

■ **ふれあいいきいきサロン** (コミュニティカフェ推進事業)

町内高齢者の身近な交流の場づくり

月日	場所	協力団体	主な内容	参加者
4月12日	南円団自治会館	たんぼぼ	タオル体操	22
4月14日	中央公民館	彩花	フラワーアレンジメント	22
5月12日	中央公民館	陽だまり	パーバリウム	16
5月24日	円団自治会館	昔懐かしい歌	昔懐かしい歌を楽しむ	30
6月2日	円団自治会館	クレッシエンド	南京玉すだれ	22
6月13日	円団自治会館	民生児童委員	健康体操	24
7月20日	中央公民館	民生児童委員	健康体操	21
8月2日	中央公民館	ポコの会	音楽発表会	12
8月4日	円団自治会館	クレッシエンド	モルック・大山崎の昔の映像	14
9月1日	中央公民館	陽だまり	フラワーボトル	27
9月7日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	15
9月20日	円団自治会館	昔懐かしい歌	中止	-
10月5日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	12
10月6日	円団自治会館	クレッシエンド	お手玉ゲーム	11
10月17日	円団自治会館	民生児童委員	バイオリン演奏	51
10月27日	中央公民館	彩花	フラワーアレンジメント	22
11月2日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	14
11月9日	円団自治会館	和来隊	脳活性化ゲーム	19
11月16日	長寿苑	民生児童委員	バイオリン演奏	96
12月1日	円団自治会館	クレッシエンド	輪投げ	0
12月7日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	14
1月11日	円団自治会館	和来隊	脳活性化ゲーム	22
1月12日	中央公民館	陽だまり	キットを使った編み物	13
2月1日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	13
2月2日	円団自治会館	クレッシエンド	マジックショー	16
3月1日	谷田会館	和来隊	脳活性化ゲーム	13
3月28日	円団自治会館	昔懐かしい歌	昔懐かしい歌を楽しむ	38

ボランティアセンター事業（町内のボランティア拠点）

■ボランティアセンターの登録状況

単位：人

	女性	男性	計	前年度
個人	20	11	31	(14)
グループ	315	130	445	(326)

・ボランティア連絡協議会加入グループ → 13

・その他連携ボランティアグループ → 9

■ボランティア保険 → 加入者258名

■ボランティア連絡協議会

月日	内容	参加者
4月20日	・令和4年度体制について	9
	・令和4年度 ボランティア学習会について	
	・助成金の案内について	
6月15日	・ボランティア学習会（安心生活サポート講座）について（振り返り）	10
	・助成金について	
	・活動状況について	
	・活動アンケート	
9月14日	・助成金について	9
	・活動状況について	
	・活動アンケート	
	・ボランティアのつどい（あかりちゃん祭）について	
10月26日	・活動状況について	8
	・ボランティアのつどい（あかりちゃん祭）について	
	・地域福祉実践活動交流会の案内	
1月20日	・活動状況について	9
	・ボランティア助成金について	
	・次年度ボランティア学習会について	

■夏休み小中学生ボランティア等体験教室（社協職員と地域の活動者が協働してプログラム実施）

月日	場所	内容	参加者
7月25日	なごみの郷2階	ブラインドランナー体験	4
8月2日	なごみの郷2階	トーンチャイムとメロディベル体験	8
8月3日	なごみの郷2階	防災について考える	3
8月8日	なごみの郷2階	障がいについて考える、手話について	4
8月19日	なごみの郷2階	伝統音楽体験（箏・大正琴）	4

新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み

■ ZOOMでお話会 (ゲストや職員が講師となり制度、学習の機会をの場をオンラインで提供)

開催月	ゲスト	内容
4月	地域包括支援センター長ケアプランセンター長	認知症サポーターについて
5月	mogmog、ちょっとcoffeeスタッフ	明るい町づくりサポーターについて
6月	地域包括支援センター主任ケアマネージャー	地域包括支援センターについて

■ フードパントリー (コロナ禍の影響で収入が減少している世帯に食材提供)

開催日時	利用世帯
4月16日 (日) 12:00~14:00	8世帯
7月24日 (日) 12:00~14:00	6世帯
11月27日 (日) 10:00~14:00	7世帯
1月15日 (日) 10:00~12:00	10世帯

福祉サービス利用援助事業

判断能力が十分でない方の福祉サービス利用料の支払いや日常的金銭管理等の支援を行う

(単位:人)

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計	(昨対)
4月	8	1	1	1	11	12
5月	7	1	1	1	10	12
6月	8	1	1	0	10	12
合計	23	3	3	2	31	36
7月	6	1	0	0	7	12
8月	6	1	0	0	7	12
9月	6	1	0	0	7	12
合計	18	3	0	0	21	36
10月	6	0	1	0	7	10
11月	7	1	1	0	9	10
12月	7	1	0	0	8	9
合計	20	2	2	0	24	29
1月	9	1	0	0	10	9
2月	9	1	0	0	10	9
3月	9	1	0	0	10	9
合計	27	3	0	0	30	27
総合計	88	11	5	2	106	128

物価高騰対策緊急生活支援事業

物価高騰に伴う食糧と生活物資の提供事業

期間 令和4年12/21~令和5年2月13日

対象 特例貸付利用者および支援団体

1回目	20セット配布
2回目	51セット配布

支援団体	16セット配布
------	---------

3.総務課-地域包括支援センター

地域包括支援センター 単年度目標

- 75歳以上人口が増加する中、複雑な課題を抱える利用者・家族の相談等に対応していけるよう研鑽に努めるとともに、多職種と連携を図り支援力を高める。
- オンラインでの研修や会議を積極的に活用し、コロナ禍の中でも顔のみえる関係づくりを維持、推進していく。
- 身近な住民相談窓口として、民生児童委員をはじめ地域の活動団体、関係機関とも連携を図り、センター機能の充実強化を図る。

地域包括・単年度目標総括

複雑な課題を抱える世帯が増えていることを日々実感し、「ひきこもり」に関する研修等に積極的に参加し支援力の向上に努めました。令和5年度は対面での相談が増えることが予想され、迅速・丁寧に積極的な対応を実施するには関係機関との連携を強化することが求められます。そのため身近な相談窓口として活動団体や事業所と協力し、センター機能を強化及び活性化する事業を行うことが課題となります。

事業内容

高齢者の総合相談窓口、「総合相談」・「権利擁護」・「介護予防ケアマネジメント」・「ケアマネージャー支援」の業務を行います。
地域包括ケアシステム構築のためのネットワーク事業の実施。

エリア

大山崎町

職員体制（保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士）

センター長1名、正職2名、嘱託1名

総合相談のべ件数（4月～3月）

（単位：件）

	電話	訪問	来所	その他	計
本人・家族	2079	891	211	133	3314
関係機関ほか	1702	164	76	596	2538
計	3781	1055	287	729	5852

相談内容（4月～3月）

相談内容	のべ件数
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	4984
権利擁護に関すること	136
（うち、虐待に関すること）	58
地域支援事業に関すること（健康体操倶楽部関係）	109
介護支援専門員支援	13
その他	610
計	5852

予防給付ケアマネジメント(4月～3月)

◆包括担当 (単位：件)

給付管理	新規	継続	計
4月	0	103	103
5月	2	97	99
6月	3	91	94
7月	3	87	90
8月	0	81	81
9月	7	83	90
10月	1	89	90
11月	5	88	93
12月	1	89	90
1月	2	87	89
2月	5	87	92
3月	3	92	95

◆委託 (単位：件)

給付管理	新規	継続	計
4月	0	28	28
5月	2	18	20
6月	0	34	34
7月	0	35	35
8月	1	31	32
9月	0	28	28
10月	0	28	28
11月	2	25	27
12月	0	30	30
1月	2	28	30
2月	0	25	25
3月	1	26	27

介護予防体操事業「健康体操倶楽部～和逢～」

運動機能向上、認知症予防、閉じこもり予防、要介護状態への進行予防、社会交流を目的に週1回、短時間の集団運動指導を行なう。講師：京都済生会病院・理学療法士

	実施回数	実人員	のべ人員	男性登録	女性登録	介護保険移行
4月	3	15	39	3	13	1
5月	3	14	38	3	12	0
6月	3	15	39	3	13	0
7月	3	15	42	3	13	0
8月	3	16	40	3	13	0
9月	3	16	43	3	13	0
10月	3	16	42	4	13	0
11月	3	14	38	4	13	0
12月	3	15	40	4	13	0
1月	3	12	31	4	13	0
2月	3	12	30	4	13	0
3月	3	15	41	4	13	0

ネットワーク事業

介護支援専門委員会	包括主催の町内居宅事業所、行政との連絡会
乙訓地域包括ケアシステム交流会	乙訓医師会主催のケアシステム構築を目的とした医療・福祉・保健のネットワーク
在宅療養手帳委員会	乙訓医師会主催の医療・福祉保健連携ツールネットワーク
乙訓地域包括ケアシンポジウム 実行委員会	乙訓医師会の市民対象とした啓発シンポジウムネットワーク
町民協定例会	町主催の民生児童委員連絡会とのネットワーク
町包括運営協議会	町主催の包括運営協議・事業計画、報告、予算管理、決算
町・包括定例連絡会	町と地域包括支援センターによる毎月の定例会
京都府地域包括支援センター 連絡協議会乙訓グループ	二市一町8包括の連絡会
地域密着型特別養護老人ホーム・洛 和ヴィラ天王山運営推進会議	地域密着型特別養護老人ホームの運営会議
洛和グループホーム天王山・大山崎 運営推進会議	町内2件のグループホーム運営会議

4.事業課-ケアプランセンター

ケアプランセンター 単年度目標

- 介護相談対応力の向上
正職員標準担当件数35以上の維持、研修への積極参加
- 上位特定事業所加算の取得
- 段階的な要支援認定者の受託

ケアプラン・単年度目標総括

正職員を1減にし、最終的には35以上の担当ケースを維持し、要支援者の担当も行い、黒字化の目標を達成しました。一方で1減にしたことにより上位加算の取得はできませんでした。令和5年度は引き続き現体制を維持しながら、相談対応力の向上を図ることが課題となります。

事業内容

要介護認定を持つ高齢者の介護サービス計画を作成し、利用サービスの調整を行う。
5月以降は要支援認定者も担当

エリア

大山崎町全域及び長岡京市の一部

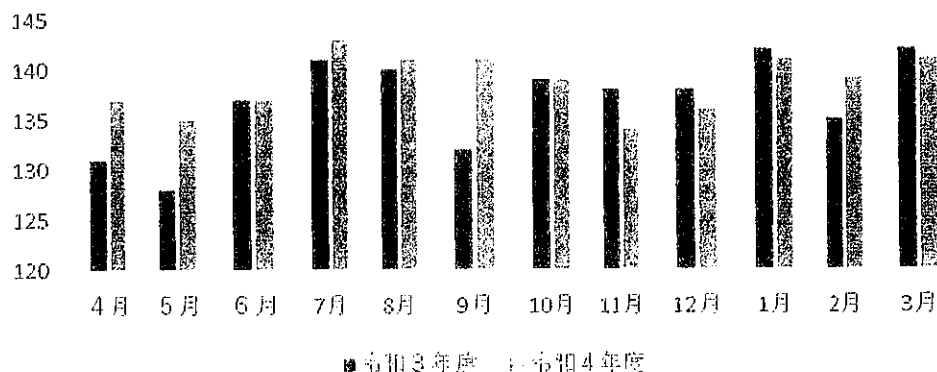
職員体制

センター長1名、正職2名、嘱託1名

令和4年度 月次担当件数 出所：ほのぼのNEXT 担当ケアマネ毎利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和3年度	131	128	137	141	140	132	139	138	138	142	135	142	1643	
令和4年度	137	135	137	143	141	141	139	134	136	141	139	141	1664	101.3

月次担当件数 昨年対比



4月からの実施事項

- ケアプランセンターのチラシを作成し関係機関へ配付
- 大山崎町内の認知症カフェ等へ職員を派遣し、介護保険説明及び相談の実施
- 9月から1名減の4名体制で運営

5.事業課-デイサービスセンター

デイサービスセンター 単年度目標

- 定員35名への移行による一日の利用幅を意識した経営
中重度利用割合が高いことによる入院・短期入所への対応力向上
- 他のデイとの違いを意識したなごみの郷の「強み」を活かした特色づくり
季節のイベント、利用者との共同実践による事業づくり、ミュージックケア等
- 純利益を意識した経営感覚の向上、売上高だけではなくコストとの差を意識した経営

デイサービスセンター・単年度目標総括

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用控えや新規の獲得が難航する中、下半期は延べ利用者数が昨年を上回ることができました。しかし以前の利用者数にはまだ至らず、経費削減を行うことにより赤字幅を圧縮することに努めました。最終的には200万円の赤字となり、令和5年度は平均利用者数を以前と同じ27名に戻すことが黒字経営への一歩となります。

事業内容

要介護認定を持ち、在宅で生活されている高齢者に通所していただき、入浴、食事、社会交流の機会の援助を行なう

エリア

大山崎町全域及び長岡京市の一部

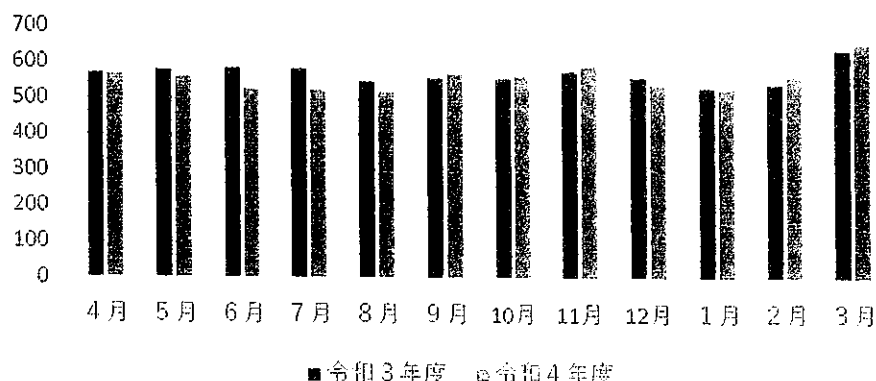
職員体制

センター長1名、正職1名、嘱託3名、臨時18名

令和4年度 月次延利用者数 出所：ほのぼのNEXT要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和3年度	570	578	583	582	547	556	555	575	558	530	540	635	6809	
令和4年度	567	559	525	523	517	568	561	589	537	526	561	652	6685	98.179

月次延利用者数 昨年対比



4月からの実施事項

- 感染予防に努めての外出レクリエーションの再開
- 感染予防に努めてのレクリエーションボランティア受け入れの再開
- 利用者負担を抑えるための食事形態の変更

6.事業課-ホームヘルプセンター

ホームヘルプセンター

■ICT機器導入による業務の効率及び安定化

アプリによる実績入力および情報共有の効率化

■特定事業所加算の取得

■支援内容に応じた処遇への移行…現行よりも身体介護への提供の向上

ホームヘルプ・単年度目標総括

訪問アプリの利用を開始し業務の効率化を図り、4月から障がい(ガイドヘルプ)も通常再開、1月には特定事業所加算も取得しました。身体介護と生活介護の賃金基準を見直すことにより支援内容に応じた処遇への移行も実施し、単年度目標はすべて達成し約500万円の黒字となりました。令和5年度は介護保険の目的に沿った「自立支援と重度化防止」に重点を置き、共同実践による身体介護の割合を70%を目指すことが目標となります。

事業内容

要介護認定を持ち在宅で生活されている高齢者宅に訪問し、介護サービスの提供を行なう。

エリア

大山崎町全域及び長岡京市の一部

職員体制

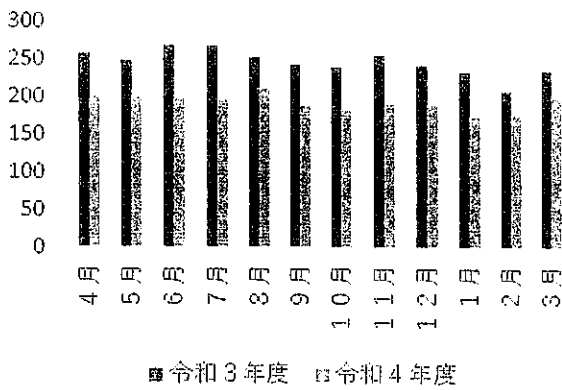
センター長1名、嘱託2名、臨時22名

令和4年度 事業運営状況

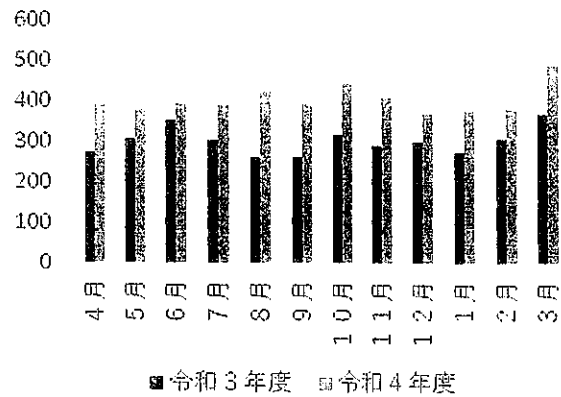
介護保険事業 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和 3年度	介保利用者(人)	53	53	57	59	56	56	56	58	59	60	63	60	690	
	介護(人)	37	37	41	43	38	38	38	39	40	42	46	43	482	
	要支援(人)	16	16	16	16	18	18	18	19	19	18	17	17	208	
	身体介護(回)	178	208	254	223	188	198	237	205	190	166	169	183	2399	
	生活援助(回)	257	248	270	267	252	242	239	255	241	232	207	234	2944	
	身体→生活(回)	96	98	96	81	74	64	80	85	110	109	138	185	1216	
	要支援(回)	75	70	75	74	84	81	86	93	85	79	71	88	961	
	合計(回)	606	624	695	645	598	585	642	638	626	586	585	594	7424	
令和 4年度	介保利用者(人)	59	56	59	61	62	66	66	62	59	59	61	65	735	106.5
	介護(人)	43	40	43	46	48	50	50	48	46	47	47	51	559	116.0
	要支援(人)	16	15	16	15	14	16	16	14	13	12	14	14	175	84.1
	身体介護(回)	207	215	257	265	284	244	286	265	254	255	253	326	3111	129.7
	生活援助(回)	201	199	197	195	211	188	183	191	189	174	175	199	2302	78.2
	身体→生活(回)	183	163	136	125	139	148	157	144	118	122	127	162	1724	141.8
	要支援(回)	76	72	76	72	82	77	65	58	52	48	54	68	800	83.2
	合計(回)	667	649	666	667	716	657	691	658	613	599	609	639	7831	105.5

生活援助利用回数 昨年対比



身体・身生合計利用回数 昨年対比



障がい者総合支援法事業 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和3年度	自立支援給付利用者	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	7	8	77	
	移動支援利用者	1	0	2	2	2	1	2	3	2	2	2	2	21	
	居宅介護(回)	28	25	27	29	26	31	28	29	27	26	25	30	331	
	行動援護(回)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	移動支援(回)	3	0	4	10	6	3	7	6	5	5	5	5	59	
令和4年度	自立支援給付利用者	8	8	8	8	8	8	7	6	7	8	9	6	91	118.2
	移動支援利用者	2	2	2	3	2	1	4	5	4	4	4	5	38	181.0
	居宅介護(回)	29	31	47	32	45	25	21	17	24	20	19	17	327	98.8
	行動援護(回)	1	2	1	1	0	1	2	1	1	2	2	1	15	####
	移動支援(回)	6	8	7	7	7	5	9	9	7	7	6	7	85	144.1

4月からの実施事項

- 訪問アプリケーションによる連絡帳及び事業効率化
- 1月からの特定事業所加算取得の準備
- 身体介護および生活介護の処遇改善の見直し

7.事業課-障がい者相談支援事業所

相談支援事業所

- 計画相談担当件数45を目安とした経営
- 法人内での相談支援専門員初任者研修修了者の育成
- 乙訓圏域自立支援協議会との連携強化

相談支援事業所・単年度目標総括

担当件数は約50件となり、初任者研修の受講者も増やすことができましたが、職員が退職したことにより相談員が1人の体制に戻りました。令和5年度課題は現担当利用者に対応しつつ、複数の相談員体制をつくり、新規ニーズにも応えていくこととなります。

事業内容

障がいのある人が安心して地域で生活できるよう、必要な情報提供や相談支援活動を行う。
障がいのある方（身体・知的・精神）の障がいサービス計画を作成する。
（ピアサポート事業、相談会、自立支援協議会との協働）

エリア

大山崎町

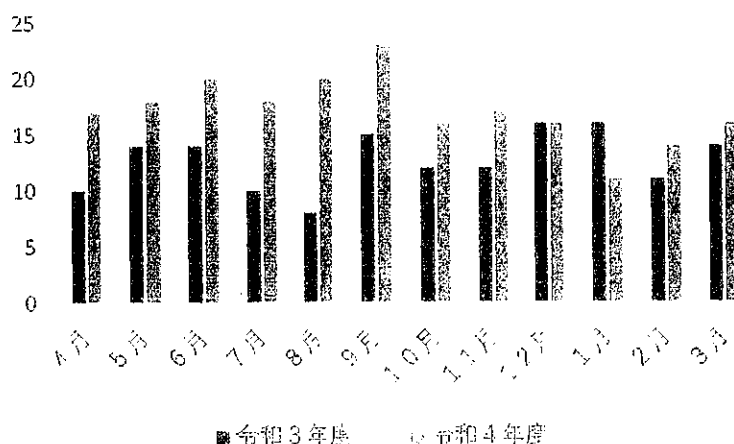
職員体制

センター長（局長兼務）、嘱託1名

令和4年度 計画相談運営状況 出所：月間業務実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨対率
令和3年度	町内	10	13	14	10	8	13	12	11	14	14	11	12	142	
	町外		1				2		1	2	2		2	10	
	合計	10	14	14	10	8	15	12	12	16	16	11	14	152	
令和4年度	町内	15	17	18	17	19	20	16	17	14	11	14	15	193	135.9
	町外	2	1	2	1	1	3			2			1	13	130.0
	合計	17	18	20	18	20	23	16	17	16	11	14	16	206	135.5

計画・モニタリング数 昨年対比



◆障害別利用状況

利用者 68名 前年度(54)

(単位：人)

	実人員	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他 (難病)	計
4月	29	7	0	13	16	3	1	1	17
5月	31	7	0	13	18	4	1	1	15
6月	37	11	0	15	17	3	1	1	21
7月	30	6	0	14	14	2	1	1	19
8月	35	11	0	16	17	2	1	1	19
9月	38	12	0	16	19	3	1	1	23
10月	31	7	0	14	17	3	1	2	20
11月	37	11	0	15	19	2	1	3	21
12月	36	13	0	18	16	2	1	3	20
1月	31	11	0	14	11	2	1	3	17
2月	31	11	0	11	15	2	1	3	21
3月	36	11	0	15	19	1	1	3	18
計	402	118	0	174	198	29	12	23	
(前年度)	360	104	0	159	180	27	10	18	

◆支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
4~3月	231	85	40	##	26	33	##	3	1,234

(前年度) 175 88 27 399 16 30 84 0 819

◆支援内容

(単位：件)

	社サービ の利用等	障害や病状 の理解	健康 医療	不安の解消 情緒の安定	保 育 教 育	家族関係 人間関係	家計 経済
4~3月	844	340	313	485	12	349	132

(前年度) 610 475 225 510 10 245 176

	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	計
4~3月	321	225	100	43	254	3,418

(前年度) 426 150 74 43 106 3,050

4月からの実施事項

- 町より指定相談支援事業
- 乙訓圏域自立支援協議会との連携（運営委員会・相談支援部会・人材確保育成部会・児童発達支援プロジェクト）
- 町内にグループホーム、就労支援事業所増による利用者数増

